

緊急メッセージ

保護者の皆様へ

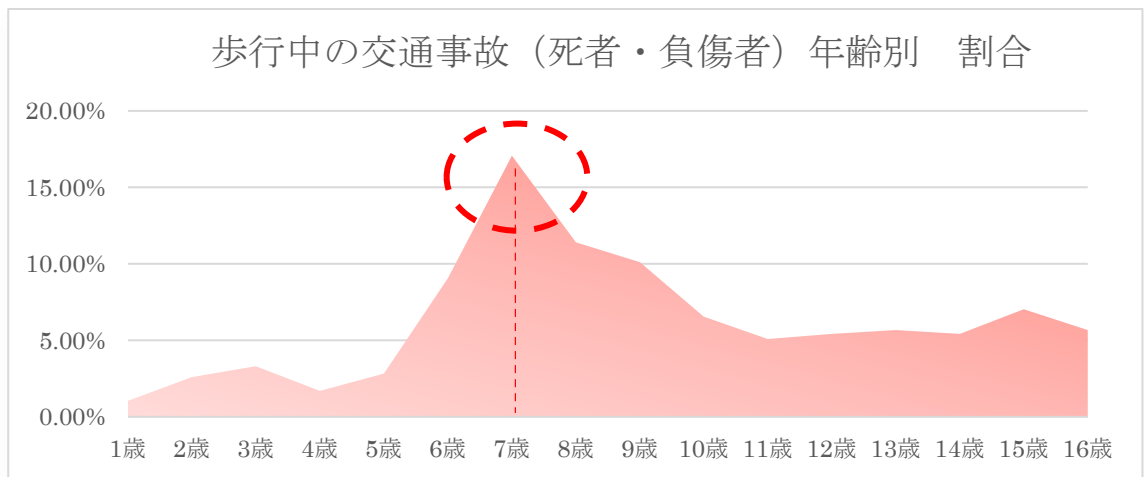
リ ス キー ー セ Risky 7

佐久市教育委員会学校教育課
佐久市福祉部子育て支援課

～小学校入学前・後の交通安全指導（佐久市プログラム）～

歩行中の交通事故は7才（小学1年・2年）で多発しています！

子どもの歩行中の交通事故 年齢別発生割合（平成26～令和5年）



出典：長野県警 調

[留意したいこと]

小学校入学前後の交通事故を防ぐために、入学までに、また小学校低学年において

「危険からの隔離」ではなく、

「自分で安全確認する力を育む」必要があります。

例えば

- 入学前に、保護者と子どもで小学校までの通学路を歩いてみる。
ただし、保護者が見守りながらも、**子どもに安全確認させ、GO!サインを出させる。**
- 家庭で話し合ってみる。
 - ①「通学路」「家の周り」など、**普段使う道路で気を付けないといけない場所はある？**
 - ②**知らない道路を歩くとき、どんなことに気を付ける？**

お問い合わせ先

佐久市教育委員会学校教育課 電話 62-3478 または
佐久市役所福祉部子育て支援課 電話 62-3149

それでは、

1 通学路を実際に歩いてみましょう（シラベル）

子どもと一緒に通学路を歩いてみましょう。

特に安全確認が必要な場所は、大人も子どもの目の高さになって一緒にチェック（シラベル）。実際の道路で安全な通行方法を子どもと考えましょう。安全確認の主役は子どもです。

2 「とび出し」の危険を指導しましょう（トマル）

道路に出る時、交差点や横断歩道を渡る時、「ストップマーク」^{※1}や「横断歩道の前」は必ずいったん止まる（トマル）。

右と左をよく見て、近づいてくる車があるときは通り過ぎるまで待つことを繰り返してやってみましょう。

子どもが「ここで渡るとあぶないな」と自分で感じるようになることが大切です。

※1 ストップマーク…佐久市保育園保護者会連合会が子どもたちの交通安全のために表示している黄色の足型マーク

3 信号の色の意味や使い方を教えましょう（ルール）

横断歩道を渡る時は、どの信号を見るのか、押しボタン式信号の使い方、青信号でも安全を必ず確かめて渡るのがきまり（ルール）です。

同じ青信号でも曲がってくる右左折車に気をつけるなど、実際の道路で理解させましょう。

4 直前直後横断の危険性を指導しましょう（シラセル）

車の前後や物陰から道路を渡ると、安全が確認しにくくなり、ドライバーからも見落とされやすいことがわかります。

道路の横断は、見通しの良いところを選び、ドライバーに横断する人がいる事を見せる（シラセル）ことをやってみましょう。

5 保護者自身が模範行動をしましょう（モデル）

保護者自身が交通ルールを正しく理解して、いつもスロードライブな安全通行を実践し、子どものお手本（モデル）になるようにしましょう。